

2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月10日

上場会社名 カルナバイオサイエンス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4572 URL https://www.carnabio.com
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉野公一郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理本部長 (氏名)山本詠美 (TEL)078-302-7075
 四半期報告書提出予定日 2021年5月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	231	△31.0	△291	—	△284	—	△286	—
2020年12月期第1四半期	335	97.1	△165	—	△168	—	△184	—

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 △273百万円 (— %) 2020年12月期第1四半期 △185百万円 (— %)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	△23.09	—
2020年12月期第1四半期	△15.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	4,228	3,550	83.9
2020年12月期	4,835	3,824	79.0

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 3,546百万円 2020年12月期 3,820百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は対前期比増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	923	△18.5	△1,811	—	△1,816	—	△1,825	—	△147.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年12月期1Q	12,407,100株	2020年12月期	12,407,100株
2021年12月期1Q	5,124株	2020年12月期	5,124株
2021年12月期1Q	12,401,976株	2020年12月期1Q	12,088,078株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、創薬事業においては、アンメット・メディカル・ニーズの高い未だ有効な治療方法が確立されていない疾患を中心に、特にがん、免疫・炎症疾患を重点領域として画期的な新薬の開発を目指して研究開発に取り組み、また、創薬支援事業においては、新たなキナーゼ阻害薬創製のための製品・サービスを製薬企業等へ提供するため、営業活動に取り組んでおります。

当社の2つのBTK阻害剤ポートフォリオのうち、免疫・炎症疾患を対象として開発を進めているBTK阻害剤AS-0871につきましては、健常人を対象としたフェーズ1試験の単回投与用量漸増試験（SAD）パートの投与が2020年中に完了し、全ての用量で安全性および忍容性を確認しています。この試験結果を基に、2021年下期から新製剤を用いたフェーズ1試験の反復投与用量漸増試験（MAD）パートを開始する計画にしております。

イブルチニブを代表とする第1世代の共有結合型BTK阻害薬耐性の血液がんを治療標的とした次世代BTK阻害剤AS-1763については、2021年2月にフェーズ1試験のCTA（欧州における臨床試験許認可申請）に関して、オランダ当局および倫理委員会による承認が得られました。2021年4月末より健常人を対象としたフェーズ1試験の単回投与用量漸増試験（SAD）パートにおける投与を開始しております。本試験は最大で延べ56名の被験者を対象に安全性および忍容性、副次的に薬物動態および薬力学を評価することを主要目的としています。本SAD試験の終了後、当該結果を基に、米国にて慢性リンパ性白血病およびB細胞リンパ腫の患者を対象とした第Ib相臨床試験を実施する予定です。AS-1763は、中華圏（中華人民共和国および台湾）における開発・商業化の権利を中国バイオノバ・ファーマシューティカルズ（以下「バイオノバ社」）に供与する契約を締結しており、当社はバイオノバ社が中国で実施するAS-1763に関するより多くの臨床試験データを収集・利用することで、AS-1763の治験を加速できると考えております。当社は、中華圏における今後のAS-1763の開発進捗に伴い、バイオノバ社から最大で約205百万ドル（約215億円）を受け取ることになり、さらに、AS-1763の中華圏における上市後の売上高に応じた最大2桁の料率の段階的ロイヤリティを受け取ります。

CDC7阻害剤AS-0141につきましては、固形がん患者を対象とする第I相臨床試験の治験計画届を独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）に提出し、2021年2月にPMDAによる調査が終了しております。2021年上期中に固形がんを対象とした第I相臨床試験を開始する予定です。第I相試験では、AS-0141の安全性および最大耐用量等の評価を行い、第II相試験の推奨用量を決定することを主要目的としています。

創薬支援事業においては、当第1四半期連結累計期間の売上高は231百万円（前年同期比18.0%減）となりました。2019年6月に創薬事業において締結した米国のギリアド・サイエンシズ社との新規がん免疫療法の創薬プログラムに関するライセンス契約に関連し、同社による当該プログラムの開発をサポートするため、当社の脂質キナーゼ阻害剤に関する創薬基盤技術を一定期間、独占的に同社に供与することとなり、当第1四半期連結累計期間の売上には、これに関連した売上も含まれています。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は231百万円（前年同四半期比31.0%減）、営業損失は291百万円（前年同四半期は165百万円の営業損失）、経常損失は284百万円（前年同四半期は168百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は286百万円（前年同四半期は184百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は次の通りです。

①創薬事業

当第1四半期連結累計期間において、創薬事業における売上高の計上はなく（前年同四半期の売上高は53百万円）、臨床試験費用を中心に研究開発へ積極的に投資したことにより、営業損失は379百万円（前年同四半期は297百万円の損失）となりました。

②創薬支援事業

キナーゼタンパク質の販売、アッセイ開発、プロファイリング・スクリーニングサービス及びセルベースアッセイサービスの提供等により、創薬支援事業の売上高は231百万円（前年同四半期比18.0%減）、営業利益は88百万円（前年同四半期比33.3%減）となりました。売上高の内訳は、国内売上が67百万円（前年同四半期比4.7%減）、北米地域は123百万円（前年同四半期比32.3%減）、欧州地域は23百万円（前年同四半期比61.6%増）、その他地域は16百万円（前年同四半期比20.4%増）であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は4,228百万円となり、前連結会計年度末と比べて607百万円減少しました。その内訳は、現金及び預金の減少564百万円等であります。

負債は677百万円となり、前連結会計年度末と比べて333百万円減少しました。その内訳は、1年内返済予定の長期借入金の減少14百万円、未払金の減少194百万円、長期借入金の減少35百万円等であります。

純資産は3,550百万円となり、前連結会計年度末と比べて273百万円減少しました。その内訳は、親会社株主に帰属する四半期純損失286百万円の計上等であります。

また、自己資本比率は83.9%（前連結会計年度末は79.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月12日公表の「2020年12月 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載の2021年12月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,299,142	3,734,567
売掛金	129,175	98,127
商品及び製品	66,178	67,067
仕掛品	14,555	10,892
原材料及び貯蔵品	23,789	34,250
その他	175,352	163,820
流動資産合計	4,708,193	4,108,725
固定資産		
有形固定資産	53,330	54,105
無形固定資産	3,613	3,394
投資その他の資産	70,218	61,963
固定資産合計	127,162	119,463
資産合計	4,835,356	4,228,189

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,517	—
1年内償還予定の社債	28,000	28,000
1年内返済予定の長期借入金	161,897	147,208
未払金	343,956	149,603
未払法人税等	103	164
その他	191,719	117,049
流動負債合計	727,194	442,025
固定負債		
社債	60,000	46,000
長期借入金	179,887	144,880
資産除去債務	36,839	36,988
その他	7,425	7,915
固定負債合計	284,151	235,783
負債合計	1,011,346	677,808
純資産の部		
株主資本		
資本金	558,829	558,829
資本剰余金	4,310,038	4,310,038
利益剰余金	△1,038,476	△1,324,807
自己株式	△222	△222
株主資本合計	3,830,169	3,543,837
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21	△279
繰延ヘッジ損益	△1,176	1,209
為替換算調整勘定	△8,554	2,061
その他の包括利益累計額合計	△9,709	2,991
新株予約権	3,550	3,550
純資産合計	3,824,010	3,550,380
負債純資産合計	4,835,356	4,228,189

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
売上高	335,043	231,278
売上原価	38,451	38,677
売上総利益	296,591	192,601
販売費及び一般管理費	461,667	483,814
営業損失(△)	△165,076	△291,213
営業外収益		
受取利息	58	39
受取配当金	96	99
助成金収入	785	—
補助金収入	—	7,200
為替差益	1,430	1,329
その他	22	22
営業外収益合計	2,393	8,690
営業外費用		
支払利息	2,234	1,169
支払保証料	371	363
株式交付費	3,318	—
その他	12	—
営業外費用合計	5,936	1,532
経常損失(△)	△168,619	△284,055
特別損失		
減損損失	15,107	1,755
特別損失合計	15,107	1,755
税金等調整前四半期純損失(△)	△183,727	△285,810
法人税、住民税及び事業税	707	553
法人税等調整額	△35	△33
法人税等合計	671	520
四半期純損失(△)	△184,399	△286,331
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△184,399	△286,331

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純損失(△)	△184,399	△286,331
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△196	△300
繰延ヘッジ損益	—	2,385
為替換算調整勘定	△1,290	10,616
その他の包括利益合計	△1,486	12,701
四半期包括利益	△185,886	△273,630
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△185,886	△273,630

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

株主資本の著しい変動

当第1四半期連結累計期間において、新株予約権の権利行使により、資本金が453,860千円、資本剰余金が453,860千円増加しました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において、資本金が5,111,327千円、資本剰余金が3,929,352千円となっております。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。